

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査結果の概要について

1 調査目的

第2期三田市子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり、市民の子育ての状況や、幼児教育・保育・地域の子育て支援の利用希望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることで、よりよい子育て施策の推進につなげていくことを目的として実施。

2 調査期間

就学前児童、小学生保護者……平成30年12月10日～12月25日

中学生・高校生……平成30年12月6日～12月21日

3 調査方法等

調査対象	配布数	有効回収数	有効回収率	配布方法
就学前児童保護者	1,500	748	49.9	住民基本台帳から無作為抽出。郵送による配布、回収。
小学生保護者	1,000	516	51.6	
中学生・高校生	988	956	96.8	市内の中学校・高校の協力を得て、人数等のバランスを考慮し、クラス単位での配付・回収。

4 調査結果の概要

【就学前児童保護者、小学生保護者調査】

(1) 保護者の就労状況・利用意向等

- ・ 母親の就労割合が増加（就学前 39.4⇒60.8%、小学生 64.0⇒72.0%）（問10）
- ・ 教育・保育事業を利用している理由として、「子どもの教育や発達のため」が減少（71.2→61.2%）し、「保護者の就労のため」が増加（40.1→57.4%）している。（問12-3）
- ・ 教育・保育事業を利用していない方に、子どもが何歳になったら利用したいかについての設問では、「3歳になったら利用したい」が43.2%と最も多い。（問12-5）
- ・ 幼児教育無償化が実現すれば利用意向が高くなる事業は、「私立幼稚園」「私立保育園」「幼稚園の預かり保育」「ファミリーサポートセンター」などとなっている。（問15）

(2) 家庭での役割分担

- ・ パートナーの家事や育児の頻度については、「ほぼ毎日している」「ときどきしている」

の合計が約8割となっており、前回より約9%増加している。(問37)

- ・パートナーとの役割分担の満足度についても「満足している」「まあまあ満足している」の合計が6割を超えており、前回よりも約7%上昇している。(問38)

(3) 日ごろ子どもを見てもらえる親族・知人、相談相手、地域とのかかわりなど

- ・日頃子どもをみてもらえる親族知人について、「いずれもない」の回答が(就学前11.8→15.4%、小学生13.5→14.1%)であり、前回より増加している。(問8)
- ・子育てについて気軽に相談できる人がいない割合が就学前で5.6%、小学生で6.0%であり、少ない数値ではあるが孤立している保護者が一定数存在する。また、相談先においてはチャッピーサポートセンターや市の相談窓口の利用が少ない。(チャッピー：就学前0.7%、小学生0%、市の窓口：就学前1.7%、小学生0.8%) (問9、問9-1)
- ・チャッピーサポートセンターの認知度は就学前32%、小学生16.8%。(問32)
- ・地域の子どもたちとの交流や活動へ参加している人の割合は、(就学前54.8→40.9%、小学生71.0→58.7%)と、前回より減少している。(問41)

(4) 地域子育て支援拠点事業

- ・市内4つの地域子育て支援拠点事業の利用率は増加傾向にある。(問22)
- ・利用していない理由は、「保育所・幼稚園等に通っているから」が67.2%と最も多いが、「家から遠い」(10.6%)、「情報が少ない」(7.9%)、「交通の便がわるい」(5.7%)といった理由もある。(問22-1)

(5) 子育てに関する情報の入手先、今後の意向

- ・現在の子育て情報の入手先は、「伸びゆく三田」(約8割)、「友人・知人・家族」(約5割)、次いで「地域の回覧板」(約3割)となっている。今後どのように入手したいかについては、「伸びゆく三田」、「友人・知人・家族」が上位であるが、「三田市のホームページ」「スマホアプリ」の順位が上がっている。(問45)

(6) 児童虐待

- ・周囲で児童虐待と思われる行為を見聞きしたことがある人(就学前：9.4%、小学生：14.0%)のうち約半数が、見聞きした時に「特に何もしなかった」と回答している。(問34、問34-1)
- ・家庭児童相談室の認知度(就学前：23.6%、小学生：30.3%)。※ほぼ横ばい(問36)

(7) 子育てをする上での満足度、三田市に住み続けたい意向

- ・ 他の項目と比較し肯定的な評価（満足またはやや満足）が多い項目は、「自然の豊かさ」や「子育てに優しい住環境」「交通や買い物などの利便性」となっている一方、否定的な評価（不満またはやや不満）が多い項目は「各種医療制度」や「就労支援」「仕事と子育ての両立できる環境」などとなっている。（問 44）
- ・ 「ぜひ住み続けたい」「住み続けたい」を合計すると、約 7 割が三田市に住み続けたいと回答している。（問 46）

【中学生・高校生調査】

(1) 悩みや心配事の相談相手

- ・ 悩み事の相談相手は、「友だち」が 60.3%、母親が 55.5%と多くなっている。「誰にも相談しようと思わない」割合は、前回と比べ（中学生 21.7→13.3%、高校生 16.6→17.9%）と、全体的には減少している。（問 6）

(2) 家庭、学校での生活の満足度

- ・ 家庭での生活の満足度については、「満足」「ほぼ満足」が（中学生 84.8→90.4%、高校生 85.5→90.2%）と増加している。（問 8）また、学校での生活の満足度についても（中学生 79.8→81.7%、高校生 79.9→85.0%）と増加している。（問 9）

(3) 将来の結婚観

- ・ 将来結婚したいと思うかどうかについては、「結婚したい」の割合が（中学生 51.7→40.0%、高校生 70.7→57.2%）と減少している。男女別に見ると「結婚したい」の割合は（男性 43.1%、女性 57.2%）と女性の方が高くなっている。（問 21）

5 今後のスケジュール

2019年6月～8月	平成31年度第1～3回子ども審議会(計画素案審議等)※概ね月1回開催
2019年9月	平成31年度第4回子ども審議会(計画案確定)
2019年10月	答申
2019年11月	パブリックコメント
2020年2月	議会提案
2020年4月	計画開始